

専門家派遣事例紹介

令和 6 年度アドベンチャートラベル推進事業

「AT ハンズオン支援事業」報告書より抜粋

問合せ状況と派遣件数

問合せ・申込数	派遣実施数	うち、オンライン対応
26件	23件	2件

有識者派遣詳細

派遣状況については以下の通りである。

	申込者団体名	派遣実施日程	派遣した専門家	
1	一般社団法人千歳観光連盟	10月18日	菊地敏孝氏	
2	松前町	11月2日～3日	菊地敏孝氏	
3	恵庭市	11月5日	菊地敏孝氏	
4	富良野美瑛広域観光推進協議会	12月4日	菊地敏孝氏	青木真郎氏
5	一般社団法人 Connectrip	12月10日	菊地敏孝氏	
6	北海道経済連合会	12月11日	菊地敏孝氏	
7	一般社団法人 七飯大沼国際観光コンベンション協会	12月17日～18日	道山マミ氏	
8	網走サイクリング協会	1月14日	菊地敏孝氏	
9	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	1月24日	馬上千恵氏	
10	留萌市経済観光課観光振興係	1月31日	菊地敏孝氏	道山マミ氏
11	増毛町観光協会	1月31日	菊地敏孝氏	
12	一般社団法人黒松内町観光協会	2月4日、2月7日	川村健治氏	馬上千恵氏
13	(一社)滝上町観光協会	2月5日	菊地敏孝氏	
14	ぬかびライフ	2月7日	菊地敏孝氏	
15	タルカ	2月14日	佐々木亮介氏	
16	株式会社クナウパブリッシング	2月17日	菊地敏孝氏	
17	函館市観光部観光誘致課	2月19日	菊地敏孝氏	
18	一般社団法人そうべつアウトドアネットワーク	2月20日	菊地敏孝氏	
19	カネサン佐藤、KOBUSTAY	2月26日 ※オンライン派遣	道山マミ氏	
20	利尻富士町	2月26日	菊地敏孝氏	
21	北村地域農泊推進協議会	2月27日	菊地敏孝氏	
22	合同会社 SUM-i-CA	2月27日 ※オンライン派遣	石塚裕也氏	
23	朝里川温泉組合	2月28日	菊地敏孝氏	

次ページから派遣内容について記載する。講座内容詳細については、割愛する。

1. 一般社団法人千歳観光連盟

日程	2024年10月18日（金）15:00～17:00
実施場所	まちライブラリー
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

行政、地元旅行会社、地元アクティビティ事業者と連携し、ATプランの作成やATWS2023におけるDOA（Destination Official Activities）の推進に取り組んできた。しかし、地域特有の自然、歴史、文化、遺産に精通し、かつ円滑なコミュニケーションを図れるガイドの役割は極めて重要であると認識している。したがって、商品プランの造成や情報発信と並行して、このような専門性を持つ人材の育成が喫緊の課題である。

【実施内容】

セミナーを開催し、専門家が登壇。千歳の観光に関してのアドバイスを実施した。

アドベンチャーツーリズム ATガイド研修 基礎セミナー 日 時 2024年10月18日(金) 15:00～17:00 場 所 まちライブラリー ※ちとせ (千歳市末店8丁目3アルファ千歳ビル) 次 第 - 開 会 - 第一部「ATWS北海道2023のあとのアドベンチャーツーリズムは？」(15:05～16:00予定) やまごころBOOKS発行「アドベンチャートラベル大全」共著者 講 師 水 口 猛 氏 【休憩(10分程度)】 - 第二部「AT商品の構造と求められるガイドの資質と役割」(16:10～17:00予定) 北海道アドベンチャートラベル協議会 事務局長 講 師 菊 地 敏 孝 氏 - 質疑応答 - 閉 会 講師プロフィール 水 口 猛 氏 やまごころBOOKS発行 「アドベンチャートラベル大全」共著者 函館市出身。北海道運輸局の国勢統計課長、観光課次長。2021年に観光振興として長きに渡り観光行政に携わる。ATWSには2013年(第1回)、2018年(スウェーデン)に参加し、ATWS北海道実行委員会では幹事を務めた。2023年に「アドベンチャートラベル大全」を共著・発行。 菊 地 敏 孝 氏 北海道アドベンチャートラベル協議会 事務局長 函館市出身。NPO法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター事務局長を経て、2015年に北海道定島興行社に入社。2020年から北海道観光振興局に転向しATWS北海道実行委員会事務局副ディレクターを務めた。2024年4月、同協会常務局長に就任。水戸マイスターとしても活躍されている。	 会場の様子
---	--

次第

2. 松前町

日程	2024年11月2日（土）～3日（日）18:00
実施場所	松前町役場、松前町各地
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

令和4年度に松前町スマート・シュリンク SX ビジョンを策定し（町ホームページで公開）、現在は「稼ぎ続ける観光産業への磨き上げ」プロジェクトを実装中である。令和5年度は、情報発信の強化（ホームページ構築、Instagram運用）に注力し、松前城と桜以外のコンテンツを活用した旅行商品の開発およびモニターツアーを実施した。令和6年度は、遊漁船等を活用した体験型商品の開発とモニターツアーを計画している。今後は、体験型 OTA (Online Travel Agent) 等へのコンテンツ提供を目指す。

【実施内容】

モニターツアーに参加し、グループワーク等でアドバイスを実施した。

松前まるごとアドベンチャー体験			
日程	時間	内容	備考
11月1日(金)	16:00	集合	
	16:30	体験	松前藩屋敷 ガイドツアー
	18:00	夕食	温泉旅館矢野 松前藩主料理
11月2日(土)	7:00	集合	
	7:15	体験	白神岬で渡り鳥ウォッチング(10組程度観察)
	8:30	朝食	温泉旅館矢野
	9:00	体験	レジャーフィッシング 第28宝漁丸(ソイ、ガヤなど大漁)
	12:00	体験	魚さばき
	12:30	昼食	道の駅 北前船 松前
	13:00	体験	リエネWindファーム松前
	15:00	業務	コワーキングスペースTENOH松前でテレワーク
	18:00	夕食	喜楽で釣った魚をいただく
11月3日(日)	4:00	集合	
	7:00	体験	せたな町 太田山神社参拝(松前藩ゆかりの神社、アドベンチャーツーリズム体験)
	10:30	解散	

3

1

行程

次第





3. 恵庭市

日程	2024年11月5日（火） 13:30～16:00
実施場所	・ 緑のふるさと森林公園 ・ 恵庭溪谷 ・ 旧恵庭森林鉄道跡
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏 サステイナビリティ・コーディネーター協会 青木真郎氏

【課題】

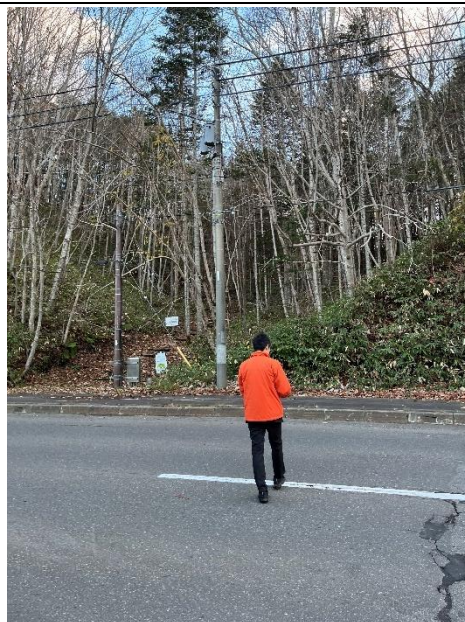
AT（アドベンチャートラベル）の定義にもよるが、現在当市が有するコンテンツは以下の通りである。当市が管理する3つの滝（景勝地）、当市が運営する緑のふるさと森林公園にあるアスレチックおよび散策路、そして盤尻地区に位置する民間のキャンプ場である **TCS Village** キャンパーズエリア恵庭がある。その他の地区では、フォレストアドベンチャー恵庭によるツリートレッキングやジップスライド、ホーストレッキング実施施設、農業や酪農の体験施設といったコンテンツが存在する。これらの既存施設の磨き上げや、新たに投入するコンテンツとの相乗効果等を通じて、新千歳空港と札幌の間に位置するという交通利便性の高さを活かし、ATを存分に楽しめる観光地を目指していきたい。

【実施内容】

恵庭市が管理する3つ滝（景勝地）、当市が運営する緑のふるさと森林公園にあるアスレチック及び散策路、**TCS Village** キャンパーズエリア恵庭という民間キャンプ場がある盤尻地区の視察と意見交換を実施した。



視察した場所



視察した場所

4. 富良野美瑛広域観光推進協議会

日程	2024年12月4日（水）10:00～15:00
実施場所	富良野市役所1階 会議室C・D
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏 サステナビリティ・コーディネーター協会 青木真郎氏

【課題】

富良野美瑛広域観光推進協議会の一部エリアでは、他地域を拠点とした日帰りバスツアー来訪者の一極集中が発生している。これにより、観光分野の地域経済への貢献が損なわれ、地域住民の観光に対する満足度低下が危惧される。

このような事態がエリア全体に拡大することを防ぐため、観光による地域住民や自然環境への負荷低減、一極集中の緩和、および地域経済への貢献を実現するべく、現在問題が発生していないエリアも含めて、事前に「持続可能な観光地域づくり」と、それに資する「AT（アドベンチャートラベル）商品の造成」に取り組む必要があると考える。

しかしながら、現状では持続可能な観光に取り組むエリアが美瑛と富良野（両地域ではGSTC研修を実施済み）に限定されており、エリア間で取り組みへの温度差がある。また、AT商品の造成に関しては、「アクティビティコンテンツの羅列」や「詰め込み式の旅程からの脱却ができていない」という状況にある。

【実施内容】

セミナーに2名の専門家を派遣し、テーマについてのアドバイスを実施。

富良野美瑛 観光アカデミー

～地域を支えるミライの観光～

参加
無料

2023年度の美瑛町から占冠村の6エリアにおける宿泊客数は、統計開始以来最高となりました。この急速な回復に伴い、レンタカーや日帰りツアーバスの増加、渋滞・飲食店や観光スポットの混雑などさまざまな課題に直面しました。これらの地域課題の解決に向けた糸口として、「持続可能な観光」の考え方を取り入れることや、「アドベンチャートラベル」を推進することにより、地域住民が「住んでよし・働いてよし」、観光事業者や農業者が「受け入れてよし」、旅行者が「訪れてよし」、負荷低減による「環境よし」となるエリアとして、観光の手法による地域の活性化を目指していきます。

日程
2024年12月4日（水）
10:00-15:00（受付9:30-）
※昼休憩12:00-13:00 昼食はご用意ください

会場
富良野市役所1F 会議室C・D
（富良野市弥生町1番1号）

対象者
観光協会(DMO)
観光(宿泊・ガイド・飲食・アウトドア・交通)や農業に携わる事業者や個人の方
地域住民の方 等

申込・問合せ 下記申込用紙よりメールまたはFAXでお申し込みください。
☎ 0167-39-2312 / FAX 0167-23-2123 ✉ kankou@city.furano.hokkaido.jp
📍 富良野市本町2番27号 コンシェルジュフロア2F 富良野市商工観光課

申込締切
11月29日

講師



菊地 敏孝 氏
(株)北海道宝島観光社 執行役員
観光地域づくり事業部 部長
インバウンド事業部 部長



青木 真郎 氏
(株)LOGPORT 代表取締役
(一社)サステナビリティ・コーディネーター協会 代表理事

氏名（ふりがな）	所属（団体・勤務先）
電話番号	メールアドレス

主催・事務局 富良野美瑛広域観光推進協議会



5. 一般社団法人 Connectrip（網走）

日程	2024年12月11日（水）16:00～18:00
実施場所	コネクトリップ ガイド集合場所
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

ATWS2023 においては、PSA ツアー内での体験メニュー提供を実施した。現在、独自の AT（アドベンチャートラベル）ツアーを造成し販売しているが、さらなる市場開拓のため、ツアーの磨き上げとプロモーション手法についてアドバイスを仰ぎたい。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施。以下の内容についてアドバイスを実施。

1. 「アドベンチャートラベルとは何か」について資料を使い解説（座学）
2. 自走できる「コネクトリップ」の体制整備について
 - ・ ATWS2023 の PSA（エクスカージョンツアー）を行ったことで、網走市における観光事業において知名度が上がった。網走市役所観光からも一目置かれるようになり、団体客は観光協会、個人客や特別感のある旅行はコネクトリップというような棲み分けができてきた。市からも予算がつくようになり、運営に弾みがついた。このような点において、ATWS2021 や 2023 が北海道で開催されたことによる域内の恩恵はあったと実感している。
 - ・ 網走漁業組合との関係も良好で、網走湖、オホーツク海域（ふたつ岩周辺）などのフィールドでのアクティビティ運営への理解と協力を得られている。漁区での運行許可だけではなく、とくに安全面におけるバックアップには大変感謝している。海域でカヤックを行う場合に、漁協へ事前に連絡するのは当然だが、それに加え漁協は船を出し、安全運行のサポートを積極的に行ってくれるようになった。道内には、このような漁協はないと思う。
 - ・ 運営スタッフの確保が課題となっている。夏季及び冬季のプログラムも定番化し、認知度も上がり、売上も伸びてきているが、運営スタッフを雇える域には達していない。創業メンバーも高齢になってきており、次世代の移行期を迎えるにあたり、これらの課題を解決に取り組んでいきたい。

6. 北海道経済連合会

日程	2024年12月11日（水）9：00～11：00
実施場所	北海道経済連合会
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

- ・AT ガイド人材の確保・育成
- ・AT コンテンツの造成・PR 方法
- ・その他、AT が成長産業へと飛躍するための目下の課題・見通し等

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施。以下の内容についてアドバイスを実施。

1. 「アドベンチャートラベルを活用した観光地域づくり」について資料を使い解説（座学）
2. AT を活用した地域産業との協業について
 - ・北海道経済連合会（道経連）は、北海道内の多様な企業と連携し、北海道の経済活性化に貢献できるよう取り組んでいる。その中でも、観光は北海道経済を牽引するための重要な産業だと考えている。北海道の基幹産業の一つである観光産業の活性化のためにATを用いて何かできないか思案している。また、多様な企業を巻き込んで北海道の観光コンテンツの裾野を広げたいと考えている。
 - ・とくに、北海道に来訪するインバウンドによる経済効果を、地元企業（事業者）がもっと実感できるような取り組みはできないかと模索している。
 - ・北海道に来訪するインバウンドは、観光地だけに興味があるわけではない。ATWA2023（北海道開催）において、日本人、北海道に住んでいる人の「暮らし」「日常」に興味があることがわかった。もっとも面白かった、関心があったコンテンツは「Culture（文化）」、さらに「Nature（自然）」「Unique（この地域でしか体験できない事）」と続いた。これは、インバウンドの旅行スタイルが成熟してきていると言えるのではないだろうか。
 - ・日本のゴールデンルートや有名観光地を巡る団体旅行から、さらに大好きな日本や北海道を知りたい、地元の人と交流したいという（来訪）動機になり、それを達成するために個人旅行の形態に変わってきたと考えられる。
 - ・「文化」は、ある意味「技術」に置き換えてもいいのかもしれないと考える。なぜなら、その地域特有の産業もまた地域の自然や歴史（背景）に繋がっているからだ。インダストリアルツーリズム（産業観光）がこれに近い。インダストリアルツーリズムとは、その地域特有の産業に係るもの（工場、職人、製品など）、ならびに昔の工場跡、鉄道跡、産業発祥の地などの産業遺構を観光資源にする旅行のこと。
 - ・インダストリアルツーリズム（産業観光）も既存のコンテンツ（●●ツーリズム）とかけ合わせ、AT的な要素を混み込めば十分エンターテインメント性の高い、付加価値の高いツアーができると考えます。また、そのツアーでは、地域経済に寄与する2次売上（直接購入）、3次売上（間接購入、お取り寄せ、輸入）に広がる可能性があると思います。
 - ・通常の旅行ですと、宿泊、交通、入場拝観料、ガイド料、観光客用お土産店、観光客用レストランなどへ主にお金がかかりますが、産業観光ですと民芸品、刃物、茶器などの専門技術を要する軽工

業、職人にお金が流れます。日本が未来に残したい「技術」を観光が側面でサポートするわけです。

- ・ 日本の「伝統的酒造り」は、**2024 年 12 月**にユネスコ無形文化遺産に登録されました。日本酒は、ワインと違い「水」を使います。「水」が命とも言えます。日本の水はそのまま飲むことができ、その品質は世界的にも稀有な存在です。その水はどこから来るかというと、火山、針広混合林、積雪地帯、国立公園などを含む日本独特の自然環境です。「自然」です。
- ・ また、これらの自然に密接に関係するのが「文化」です。アイヌ文化、地域ならではの食文化、土着の祭り文化もそれにあたります。これらが「くいだおれツアー」にならないよう、健康に配慮し、自然を体感しながら旅を楽しめるエンターテインメント性を持たせるアクティビティー（トレッキングやカヌーなど）を旅程に盛り込むと、それはアドベンチャートラベルと呼ばれるものになるでしょう。
- ・ 道経連に期待されることは、地域企業との連携強化。日本の観光業者はもとより、地元の飲食店、農業・漁業関係者とのコーディネート（仲介）に期待したい。個人旅行者（FIT）による地域経済の波及効果を高める手法を、北海道の新たな観光産業に取り入れていくための支援を期待したい。

7. 一般社団法人 七飯大沼国際観光コンベンション協会

日程	2024年12月17日(火) 18:00
実施場所	七飯町各地、南北海道大沼婦人会館・七飯町林業研修センター
派遣人材	一般社団法人 connectrip 道山マミ氏

【課題】

- ・ 当地アウトドアコンテンツ(カヌー等)のブラッシュアップに関する助言: 長期間コンサルティングを導入していないため、現状ではコンテンツの改善点が不明瞭である。
- ・ 環駒ヶ岳協議体と連携したアウトドアコンテンツの磨き上げ
- ・ 地域ガイド育成事業への支援: 10月から開始した同事業において、参加ガイドのさらなるスキル向上を目的とする。
- ・ アウトドアツアーコンテンツの企画造成

【実施内容】

専門家を派遣し、セミナー及び現地調査を実施した。以下は講師プロフィールとスケジュールである。

 公益社団法人 北海道観光機構【ATハンズオン支援事業】専門家派遣 エリアセッション開催のお知らせ	ATハンズオン支援事業とは 2023年9月にアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本(ATWS2023)がアジアで初めて実地開催されたことを受け、海外から北海道へのアドベンチャートラベル(AT)における注目が高まる中、AT受入体制の構築に取り組んでいる、または新たに取組を始めようとしている全道各地域での諸課題の解決が必要である。 本事業では、各地域の特性に応じたATコンテンツの発掘や磨き上げ、AT人材の育成や確保、ATツアー商品の造成や販売等の現状の把握と諸課題の解決を行い、AT受入体制の構築を目指すよう、地域に専門家を派遣する事業です。 事業目的: 本事業は、各地域の特性に応じた「ATコンテンツの発掘や磨き上げ」、「AT人材の育成や確保」、「ATツアー商品の造成や販売」等の現状の把握と諸課題の解決を行い、地域が将来的にAT受入体制の構築を目指すよう、地域に専門家を派遣することを目的としています。 登録専門家: 北海道認定アドベンチャートラベルガイドやAT商品を造成・販売している旅行会社、中小企業や個人事業主に対して経営支援等を行う産業支援機関など、ATに関する知識豊富な人材かつ北海道の観光情勢に精通している人材を専門家として登録しています。 この事業の派遣先に、当地大沼が招聘希望を出し実現しました。
講師プロフィール 道山マミ氏 所属: 一般社団法人コネクトリップ https://connectrip-okhotsk.com/about/ 専門分野 ガイド人材育成 観光地域づくり 広域連携 シゴトプロフィール 合同会社 大地のりんご代表 農産物仕入販売 加工製造業 コンサルティング 一般社団法人コネクトリップ「地域をつなぐ、あたらしい旅のかたち」 北海道オホーツク・網走周辺オホーツク地域の雄大な景観、日本有数の力強い農畜産業や漁業、街の商店や加工業、工業産業、それらを支える人々、すべてありのままの地域の営みや風景は、地域に暮らす私たちだけでなく、ここを訪れてくるとる観光客の心にも残っている大切な価値ある財産と考える。 固定公園内にあるこの網走市を中心に、周辺地域の地域産業を支える人々のふれあい、進化する産業の今、地域の歩んできた歴史、民俗、観光地、それらすべてをconnect(コネクト)したtrip(旅)として、新しい旅のあり方をご提案できるように、2019年(令和元年)7月8日 大安吉日、拠点施設 Connectrip を開設いたしました。色々な体験や、ツアーには是非参加いただき北海道オホーツク・網走地域の新たな魅力を見つけていただければ幸いです。	スケジュール 12/17(火) 女満別空港9:50発 ~ 丘珠空港10:40着 丘珠空港11:15発 ~ 函館空港11:55着 到着後ランチ エリア案内 道の駅・THE DANKSHAKU LOUNGE⇨リバービュー⇨遊歩 ⇨函館七飯 Gondola 等 18:00 道山氏 講演会(婦人会館) ガイド人材育成 観光地域づくり 広域連携 について 意見交換&アドバイス等 【大沼泊】 12/18(水) 個別セッション 9:00 イクサンダー大沼カヌーハウス その他希望各社 大沼発13:30 函館空港15:05発~丘珠空港15:45着 丘珠空港17:30発~女満別空港18:15着
講演会ご案内先 ①イクサンダー大沼カヌーハウス ②大沼合同遊船株式会社 ③株式会社NABEYA ④カヌーイスト大沼 ⑤ターブルドゥ・リバービュー ⑥函館大沼 船着き場 エイ ⑦函館大沼プリンスホテル ⑧株式会社はこだてわいん ⑨森商店 Woods ⑩OEP大沼エデュケーションパークプロジェクト ⑪函館七飯 Gondola ⑫株式会社DANKSHAKU LOUNGE ⑬七飯町 高工労働観光課 ⑭森町 高工労働観光課 ⑮森町 高工労働観光課 ⑯七飯町道の駅 なないろなえ ⑰知内町高工観光課 ⑱木古内町高工観光課 ⑲七飯町道の駅 ⑳ 株式会社DANKSHAKU LOUNGE ㉑ グリーンピア大沼 その他、七飯大沼国際観光コンベンション協会会員・観光関係各社	 Nature has given us all the pieces required to achieve exceptional wellness and health, but has left it to us to put these pieces together. Diane McLaren 自然は我々に、卓越した健康と幸福を達成するために必要なすべての要素をすべて与えてくれたが、これらのピースを組み合わせて健康な状態に仕立てている。

8. 網走サイクリング協会

日程	2025年1月14日（火）7:00
実施場所	小清水アグリハートセンター
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

冬の AT（アドベンチャートラベル）ツアーとして、気球乗船、ファットバイクツアー、スノーシュー体験を組み合わせた広域連携ツアーの実施を希望している。については、ツアー内容のブラッシュアップとアドバイスを求める。

【実施内容】

ツアーの下見に参加し、内容に関するアドバイスを実施した。

冬季の広域地域連携を目的とした冬季アクティビティの開発に着手した。商品名は「流水熱気球フリースライト」であり、フィールドは網走から車で 25 分程度の距離にある小清水町の農地とした。距離的には網走の農地の方が近いものの、網走農協および農業者との関係性が未構築であるため、良好な関係を築けている小清水町をフィールドに選定した。

なお、気球を膨らませるところまでは進んだものの、最終的には「催行中止」となった。この経験を踏まえ、プラン B の準備を推奨した。



9. 一般社団法人 釧路観光コンベンション協会

日程	2025年1月24日（金）14:00～15:30
実施場所	釧路市観光国際交流センター 3階 研修室
派遣人材	M's English 馬上千恵氏

【課題】

アドベンチャートラベルを新たな市場として捉え、コンテンツ造成、ガイド人材育成、セミナー等の実施を進めている。現状、ツアー全体をガイドできるATスルーガイド人材が不足しているため、その育成が必要であると認識している。

【実施内容】

英語の指導が可能な講師を派遣し、研修を実施した。以下はご案内チラシと当日の様子である。

令和6年度 アドベンチャートラベル推進派遣事業
ATハンズオン支援事業（専門家派遣）

**アドベンチャートラベルセミナー
「ATスルーガイドとは」**

2023年にアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）がアジアで初めて実施開催され、海外から北海道へのアドベンチャートラベル（AT）における注目が集まっています。本セミナーでは、M's Englishの英語通訳案内士・森林インストラクター・ATガイド 馬上千恵氏を講師に迎え、アドベンチャートラベルにおけるATスルーガイドの役割と重要性について講演いただきます。

- 講座内容 アドベンチャートラベル（AT）におけるATスルーガイドの役割と重要性
- 講師 M's English
英語通訳案内士
森林インストラクター・ATガイド 馬上千恵氏
- 会場 釧路市観光国際交流センター 3階 研修室 <釧路市幸町3-3>
- 日程 令和7年1月24日（金）
- 時間 13:30開場 14:00開講 15:30終了
- 募集人員 50名様
- 主催 （一社）釧路観光コンベンション協会・釧路総合振興局・根室振興局
- 参加費無料

講師 PROFILE



M's English 馬上千恵氏
英語通訳案内士・森林インストラクター・ATガイド

福島県生まれ。帯広畜産大学卒業後、北海道森林管理局に8年勤務。オーストラリア留学を経て英語講師となり、これまでに知床半島、稚内市、厚沢部町に住み、英語の自然ガイドやインバウンド向けツアー企画などを行う。2020年から札幌市拠点。全国のガイド養成講座や英語接客セミナーを実施し、ATWS2023では、PSAスルーガイド、DOAスルーガイドなど勤める。GUIDE of the year 2024受賞。

参加申込・お問合せは、（一社）釧路観光コンベンション協会 細川まで
Tel 0154-31-1993 Fax 0154-31-1994 E-Mail hoso@kushiro-kankou.or.jp
※敬称なしの個人情報は、本講座のみで使用致します。

申 込 書

令和6年度 アドベンチャートラベル推進派遣事業 ATハンズオン支援事業（専門家派遣事業）
アドベンチャートラベルセミナー「ATスルーガイドとは」

日 程：令和7年1月24日（金）
13:30開場
14:00開講 15:30終了

会 場：釧路市観光国際交流センター 3階 研修室
釧路市幸町3-3

参加をご希望の方は**令和7年1月20日（月）**迄に下記にご記入の上、FAXまたはメールにて必要事項をお送りください。

お 名 前	
所 属 先	
電話番号	
メー ル	

【申 込 先】
FAX：0154-31-1994
メール：hoso@kushiro-kankou.or.jp
一般社団法人 釧路観光コンベンション協会
担 当：細川



10. NPO法人留萌観光協会

日程	2025年1月31日（金）18:00～20:30
実施場所	留萌市役所3階会議室
派遣人材①	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏
派遣人材②	一般社団法人 connectrip 道山マミ氏

【課題】

留萌市および留萌管内で楽しめるアウトドア体験メニュー（オロロンラインのサイクリング、海岸や留萌ダムでのSUP、暑寒別岳の登山、ロゲイニング、スノーシューなど）について、専門家の知見を仰ぎたい。これは、道内外および海外観光客をターゲットとしたアプローチに向け、コンテンツの磨き上げに関するアドバイスを得るためである。

【実施内容】

専門家を派遣し、講演にいただいたテーマに対するアドバイスを実施。

 北海道の左上 アドベンチャートラベル講演会 日時 2025年1月31日(金) 18:00~20:00(17:30開場) 会場 留萌市役所3階会議室 定員 30名 参加無料 事前申し込みが必要 申込方法: QRコードから 申込締切: 1月27日(月)17:00 主催: るもいアウトドア観光ネットワーク会議(事務局: NPO法人留萌観光協会)	北海道の左上 アドベンチャートラベル講演会 日時: 令和7年1月31日(金) 18:00~20:00 場所: 留萌市役所3階会議室 - 開会(18:00) - 主催あいさつ(約5分) 留萌市地域振興部 部長 海野 聡 氏 - 講演 ①アウトドアを活かした観光地域づくり(約30分) 北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地 敏孝 氏 ・現状の概要、取り組みについて ・他地域事例について 等 ②事例報告、情報共有(約60分) 一般社団法人 Connectrip 代表 道山 マミ 氏 ・Connectrip 設立の経緯 ・策定ガイドのコンテンツ構築について ・コーディネーターの設置 ・地域の持続性を担保するATの取組事例 等 ③るもい地域のアウトドア(約10分) 北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地 敏孝 氏 ・コンテンツ構築のアドバイス ・システムの組み立て方、ロードマップについて - 質疑応答(約15分) - 閉会(20:00)
--	--

チラシ

次第

11. 増毛町観光協会

日程	2025年1月31日（金）13:00～15:00
実施場所	増毛町文化センター 1F 会議室
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

実施報告書用アンケート内容添削案

増毛町または周辺地域でアドベンチャートラベルを推進するにあたり、現状はゼロからの取り組みとなる。そのため、具体的な推進方法（着手すべきアジェンダやスキームなど）についてご教示いただきたい。

【実施内容】

専門家を派遣し、講演にていただいたテーマに対するアドバイスを実施。

北海道観光機構・ATハンズオン専門家派遣事業

増毛町 アドベンチャートラベル キックオフセミナー

ATってナニ？

どうしてAT？

増毛町…
どんなことを？

アドベンチャートラベルの概要や他地域の取り組みを学び、
増毛町での今後の取り組みについて意見交換をしましょう

日時

2025年 1月31日（金）13:00～15:00

会場

増毛町文化センター 1F 会議室

講師

北海道アドベンチャートラベル協議会
菊地 敏孝 氏

株式会社北海道宝島旅行社
執行役員 観光地域づくり事業部 兼
インバウンド事業部 部長

※2023年9月まで出向 公益社団法人北海道観光振興機構 AT推進部 部長 兼 アドベンチャートラベル・ワールドサミット (ATWS) 2021・2023北海道実行委員会 統括ディレクター
※2024年4月より、北海道アドベンチャートラベル協議会 (HATA) 事務局長に就任

旅行会社にて、法人及び個人グループへの企画営業を担当し、添乗では各地をまわり地域を学ぶ。退職後、飲食、温泉、NPOにて観光振興分野の運営責任者を歴任し、北海道新幹線開業に伴い道南観光圏の観光地域づくりに従事。2015年4月北海道宝島旅行社に入社。2020年3月から北海道観光振興機構AT推進部へ出向。アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021・2023の企画運営に携わり現在に至る。
●出身地: 函館 ●趣味: 自転車、フィッシング

増毛町観光協会(事務局・町商工観光課)

チラシ

12. 一般社団法人黒松内町観光協会

①

日程	2025年2月4日（火）11:00～13:00
実施場所	黒松内町歌才自然の家
派遣人材	MASSIVE SAPPORO 川村健治氏

【課題】

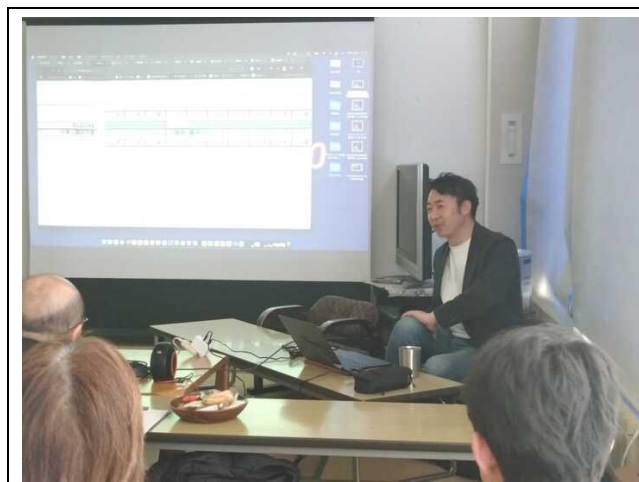
黒松内町には、AT（アドベンチャートラベル）を目的とした訪日外国人が宿泊するのに適した施設がない現状である。加えて、町営の宿泊施設が今年度をもって閉館することから、今後は訪日外国人だけでなく、日本人の宿泊も困難な状況となる。

この課題を少しでも解消すべく、当社で町内の空き家を改修し、訪日外国人でも利用可能な一棟貸しの宿泊施設として運用する構想を検討している。つきましては、宿泊施設への改修に関するアドバイスや、具体的な運用手法について、川村健治様からのレクチャーを希望する。

【実施内容】

専門家を派遣し、講演にて提示されたテーマに対し、以下のアドバイスを実施した。

長らく町の主要な宿泊施設であった「歌才自然の家」が2月末で休館したことを受け、最近の民泊ビジネスに関する知見を共有した。これにより、「添別ビジターセンター」の迎賓館的な利用や、町内空き家を活用した民泊受け入れの検討について意見交換ができた。町として事業化を検討するにあたり、川村氏に継続的な協力を求める声も上がった。



②

日程	2025年2月7日（金）13:00～15:00、18:00～20:00
実施場所	黒松内町観光協会、ブナ林
派遣人材	M's English 馬上千恵氏

【課題】

ガイド人材の育成に関しては、現在対応しているガイドの高齢化が進んでおり、新たなガイドの育成が喫緊の課題となっている。また、一過性ではなく継続的にガイドを育成することが観光協会として求められているため、ガイドの手法および人材育成の方法の2点についてレクチャーを希望する。

申請した専門家は過去に知床でネイチャーガイドとして活躍していたと聞いている。黒松内町では天然記念物に指定されている「歌オブナ林」でのガイド機会が多いため、森歩きに対する見せ方等に新たな知見が得られると感じた。ただし、専門家は英語での講習を主としており、多数のセミナー講師も務めていることから、派遣を依頼する場合は英語でのレクチャーが必須となる可能性もある。しかしながら、日本語のみでの実施も希望する。

【実施内容】

英語での指導が可能な専門家を派遣し、研修を実施した。

12時半からは、馬上氏によるAT英語ガイドの座学研修が行われた。これに続き、実際に雪のブナ林を歩くガイドング研修が、ガイド人材3名および観光協会スタッフ等を対象に実施された。これまでのブナ林歩きの発展形として、運動負荷を低減しストレス軽減を主目的とした「癒しのブナ林歩き」の商品化に向け、森林インストラクターでもある馬上氏からのアドバイスが行われた。

18時から、より多くの観光関係者を集め、「観光おもてなし英語研修」がセミナー形式で実施された。



13. (一社) 滝上町観光協会

日程	2025年2月5日(水) 15:00～17:00
実施場所	滝上町観光協会
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

新たな取り組みに着手するのではなく、これまで他事業を通じて築き上げてきたものを様々な観点からブラッシュアップし、集客力の向上を目指す。特に、当地においては「ユニバーサルツーリズム (UT)」と組み合わせることで大きな伸びしろがあると認識している。

したがって、「AT (アドベンチャートラベル)」と UT を組み合わせた情報発信や、それらを融合した商品造成 (アレンジ)、販売支援を通じて、さらなるステップアップを図りたい。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施。以下の内容についてアドバイスを実施。

1. 「AT とは何か」「AT と既存コンテンツの融合」について資料を使い解説 (座学)
2. 閑散期対策としての AT の活用について
3. UT を活かした新しい旅行形態の提案について

訪問先：滝上町観光協会 事務局長 星 淳 氏

吉田 龍ノ介 氏 (2名)

滝上町観光協会の取り組みについて (背景)

滝上町は 2016 年より、農林水産省の農泊事業を 3 年間かけて行い、農業、林業、酪農業、地元 NPO などとの多様な地域関係者らと観光による活力ある地域づくりに取り組んできた。ゆえに、当地ならではの (基幹産業や地域の魅力を活かした) コンテンツがすでに完成されている。

2020 年より、身障者にも旅を楽しんでいただけるようユニバーサルツーリズム (UT) に注力し、これまで取り組んできたグリーンツーリズム (GT) ネットワークや既存観光施設 (ホテル、芝桜公園、道の駅など) を活かし発展させてきた。現在、UT 客層も堅調で、主に視力に障害を持つ方に支持されている。今後は、グリーンツーリズム (GT) やユニバーサルツーリズム (UT) の活用、さらなる進化を目指すために AT の知見や技術も取り入れていきたいと考えている。

AT が盛んな欧米諸国においても高齢化が進んでおり、多様な方が旅に出るニーズが増加傾向にある。

- ・ ATWS2024Panama では以下のような、UT が市場にとって、とくに個人旅行にとって非常に重要な役割を持つことも指摘されている。(HATA 荒井会長の報告より)

- ・ 「アクセシブル・ツーリズム」が主流に

(※「アクセシブル・ツーリズム」とは、障害や高齢など、移動やコミュニケーションに困難を抱える人々のニーズに応えながら、誰もが旅行を楽しめることを目指す取組のこと)

■地球上の 16%の人が何らかの障害を経験している (WHO)。2050 年までに 1/6 が 65 歳以上に。

■80%は、バリアフリーのホテルの客室やサービスにより多くの料金を支払う意思がある。

■オーダーメイドツアーの価値が高まる。

- ・ ファミリー層においては年齢層によってアクティビティの幅や好みが変わるため、さまざまな選択肢が重要である。

- ・ 滝上町の UT に対する取り組みは、「だれでもできる」ことをベースにした工夫があり、お子様や高齢者、障がい者と一緒に楽しむことができる。さらに、現在は雄武町の「ホテル日の出岬」、遠軽町の「マウレ山荘」、サロマ町の「サロマ湖鶴雅リゾート」などと連携し、春季のみのオホーツク花回遊以外の UT 受入滞在コースの造成にも取り組んでいる。
- ・ 上記が形になれば、北海道における新たな AT (FIT) 市場が広がることが期待される。
- ・ また、情報にうずもれないためには、あなたの事業は特徴を高め、際立って目立つようであればいけない。その時の視点は「ユーザーにとって」何がどう特徴的か。特徴的であるのは当然だが、その特徴が個性になるまでは顧客に信じてもらえない。それまで続け、「日常」が見えるようにすることが大切である。
- ・ 滝上には、UT に関する専門知識を持ったスタッフが在住し、近隣の UT 情報を所有しているため、この客層の旅の拠点としての魅力が高まりつつある。

14. むかびライフ

日程	2025年2月7（金） 13：00～15：00
実施場所	糠平温泉ホール
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

糠平温泉を次世代に続く、活気と豊かさのある温泉集落へと発展させたい。

地域に残る鉄道遺産や産業遺構は、AT（アドベンチャートラベル）やインバウンド観光との親和性があるか、という点については検討の余地がある。むかびライフとしては、これらの鉄道遺産および産業遺構を軸に、オーバーツーリズムを招かない持続可能なAT受入体制を構築していく方針である。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施した。以下の内容についてアドバイスをを行った。

まず、「AT（アドベンチャートラベル）」の定義を再確認し、高付加価値商品を求めるインバウンド顧客が糠平に何を期待するのかをすり合わせた。その上で、閑散期（特に3月、4月）のAT商品造成について、各自が持つアイデアを持ち寄り意見交換を行った。AT商品造成に知見がある菊地氏からは、求められる商品の品質について具体的なアドバイスがあった。



15. タルカ（帯広市）

日程	2025年2月14日（金）13:00～16:00
実施場所	帯広の森・はぐくむ
派遣人材	知床ねむろ観光連盟 佐々木亮介氏

【課題】

地元のアクティビティ業者の方と一緒に地域のガイドミーティング開催を検討しているが、その際に専門家派遣をお願いしてATについて学ぶ機会を設けたい。

【実施内容】

専門家を派遣し、セミナー・ワークショップにて課題に対するアドバイスを実施。

「十勝・環日高山脈アクティビティガイドミーティング」 開催について

キーワード：観光地域づくり、滞在（循環）型観光、連携、中間支援

開催趣旨

一昨年あたりからあちこちで「アドベンチャートラベル（AT）」というワードを見聞きするようになり、その大まかなイメージ（インバウンド向け？富裕層向け？etc…）は持てるものの、「本質的な意味」について現場のカイドや関係者がざっくりばらんに話し合う機会はほとんどありませんでした。

そこでこの度、（公社）北海道観光機構の「AT/ハズオン支援事業」の専門家派遣制度を使い「知床ねむろ観光連盟」の佐々木亮介氏にお越しいただき、実際にAT商品づくりや広域連携を進められている事例を何となくともに、

・ATの「本質」は何か

・これからの十勝・環日高山脈地域の観光

などについて、観光の現場にかかわる方々で気楽に話し合う場を企画・設定いたしました。

日ごろの仕事の中の疑問や課題をゲストと一緒に考え、また、多様な方とつながる機会として、ぜひご参加いただければ幸いです。

日時：2025年2月14日 13:00-16:00

会場：帯広の森・はぐくむ（帯広市南町南9線49番地）

⇒研修センターから変更となります。

ゲスト：佐々木亮介氏（知床ねむろ観光連盟）

※知床ねむろ観光連盟 HP: <https://ekari.jp/>

参加費：無料

定員：20名程度

呼びかけ人：鈴木利典（タルカ）、工藤陽司（スカイプラス）、市川淳（十勝ネイチャーセンター）

協力：日本野鳥の会 十勝支部

お問い合わせ先：

鈴木利典（携帯：080-9701-8382、E-mail: toshioki.suzuki@gmail.com）まで。

次第



16. 株式会社クナウパブリッシング（帯広市）

日程	2025年2月17日（月）13:30～15:00
実施場所	株式会社クナウパブリッシング 会議室
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

- ・ AT（アドベンチャートラベル）層と十勝エリアが合致するコンテンツは何か。
- ・ AT層と繋がるための具体的な方法は何か。
- ・ AT層をガイドする際の注意点は何か。
- ・ AT層はリピーターに繋がり得るか。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施した。以下の内容についてアドバイスをを行った。
菊地氏よりアドベンチャートラベルの商品像について説明があった後、今年度造成しモニターツアーを実施した十勝管内のアドベンチャートラベル商品の整備について相談を受けた。その中で、根本的な運営方法、値付けの方法、そして関わる全員が持続可能な商品の作り方について議論した。



17. 函館市観光部観光誘致課

日程	2025年2月19日（水）13:30～15:30
実施場所	函館市国際水産・海洋総合研究センター 大会議室
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

AT コンテンツ造成の方法／ガイド人材の育成方法／AT への機運醸成の方法

【実施内容】

専門家を派遣し、セミナーにて AT コンテンツの付加価値の考え方についてのアドバイスを実施。

アドベンチャートラベル講演会

～ATコンテンツの“付加価値”の考え方について～

道南のATコンテンツの付加価値や魅力について、一緒に考えてみませんか？



日 時：2025年2月19日（水）13:30～15:30

参加費：無料

定 員：20名

講師
北海道アドベンチャートラベル協議会
事務局長 菊地 敏孝 氏

次 第

13:30～ 菊地氏による基礎講演
ATの基本的な内容、ATコンテンツの付加価値の考え方、世界から見た函館市の魅力に関する講演

14:15～ 応用ワークショップ
講演いただいた内容を参考に、道南にあるATコンテンツの付加価値について検討するグループワーク

15:30 閉会

対 象

〇市内ガイド、アクティビティ事業者の方
〇市内飲食店の方
〇市内旅行会社の方
〇観光行政に携わる官公庁の方

※申込みは各5名程度とさせていただきます。先着順とさせていただきます。
定員を超えた場合はお断りさせていただきます。
※参加の可否は後日メールまたは電話でご連絡させていただきます。

会 場

函館市国際水産・海洋総合研究センター 大会議室

住所：函館市井天町20番5号
電話：0138-21-4600
※駐車場無料



申込み・問合わせ先

〇申込方法：申込フォームよりお申込みください
〇申込〆切：2月7日（金）
【URL】 <https://forms.gle/EJWgeBUhDVwGsfyY8>



申込みはこちら▲

〇問合わせ：函館市観光部観光誘致課
鶴喰（つるばみ）、平井
0138-21-3453
（電話受付：平日、8時45分～17時00分）

チラシ

18. 一般社団法人そうべつアウトドアネットワーク

日程	2025年2月20日（木）18:00～19:30
実施場所	壮瞥町役場 地域交流センター 山美湖 2階 研修室3
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

令和7年春から当ネットワークが町営仲洞爺キャンプ場の指定管理を受託するにあたり、キャンプ場等の観光施設を核とした、FIT（個人旅行）旅行者を含む地域多様な事業者と連携した観光推進に関する事例や実績を有する専門家からの知見を求めている。その事例を参考に、今後の壮瞥町における観光地域づくりの戦略構築に反映させたい。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施した。以下の内容についてアドバイスをを行った

- ・国立公園の活用
- ・キャンプ場の運営について
- ・地域特産品の物販
- ・閑散期の営業（すき間時間の活用、冬キャンプの可能性、サヒナキャンプ場）
- ・アウトドアブランド等との連携（秀岳荘等との連携、備品・消耗品の地域からの調達について）
- ・教育旅行の受入れについて（教育旅行で低単価の受入れによる地域疲弊、関東の受験勉強向けの子供の能力を伸ばすための高単価な受入）

階	会場	利用予定名	利用時間
1階	多目的ホール	壮女連	9:30～11:30
1階	多目的ホール	雪合戦	12:00～
1階	和室	江黒氏	18:30～20:30
1階	小会議室	カラオケ同好会	19:00～20:00
2階	研修室1・2	書道教室	11:00～19:00
2階	研修室1・2	そうべつ混声合唱団	19:00～21:00
2階	研修室3	そうべつアウトドアネットワーク	18:00～20:00



19. カネサン佐藤、KOBUSTAY（羅臼町）

日程	2025年2月26日（水）18:00～20:00
実施場所	KOBUSTAY（羅臼町） ※道山氏はオンライン参加
派遣人材	一般社団法人 connectrip 道山マミ氏

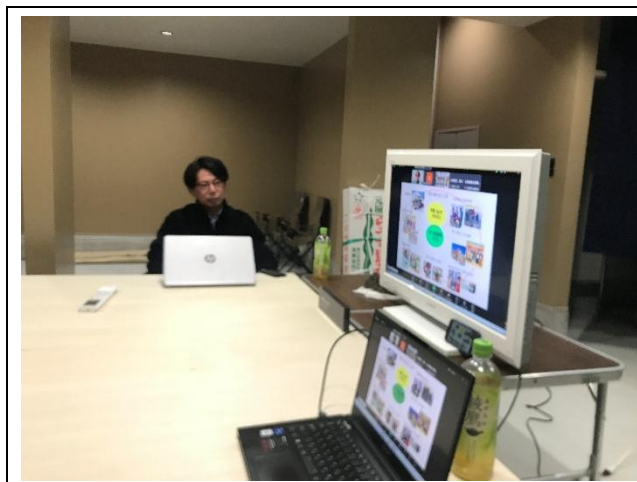
【課題】

旧スキー場を活用した「野遊びフィールド」におけるキャンプ場運営では、その活用方法が定まっていない現状である。一方で、一次産業者や観光従事者との連携が深まっている。この連携を活かすために、AT（アドベンチャートラベル）をどのように活用できるか検討が必要である。

【実施内容】

オンラインにて専門家と派遣依頼者との意見交換を実施。

- ・道山氏の取り組み紹介
- ・意見交換：兼業ガイドの主な職業、ガイド派遣や商品造成の仕組み、一次産業者を巻き込む工夫



20. 利尻富士町

日程	2025年2月26日（水）13:00～15:00
実施場所	利尻富士町総合交流促進施設「りぷら」
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

温泉施設に限られ、繁忙期と閑散期の差が大きい現状において、通年での観光客受け入れを実現するためAT（アドベンチャートラベル）の要素を取り入れたい。現状ではアウトドアガイドも存在するが、閑散期にはほとんどのガイドが島を離れてしまう点が課題である。

【実施内容】

専門家を派遣し、セミナーにていただいた課題に対するアドバイスを実施。

令和7年2月21日 令和6年度 利尻アドベンチャートラベルセミナー 日時：令和7年2月26日（水） 場所：利尻富士町総合交流促進施設「りぷら」 （利尻富士町箸泊栄町 119-1） 次 第 13時00分 開会の挨拶 利尻富士町役場 産業振興課 課長 関 光徳 氏 13時15分 主催者の挨拶 利尻富士町観光協会 会長 工藤 明夫 氏 13時30分 講演 テーマ「アドベンチャートラベル（AT）の “付加価値”の考え方について」 北海道アドベンチャートラベル協議会 事務局長 菊地 敏孝氏 14時40分 質疑応答 14時55分 閉会の挨拶 利尻富士町役場 産業振興課 熊谷 洋人 次第	 
---	--

21. 北村地域農泊推進協議会

日程	2025年2月27日（木）14:00～20:00
実施場所	やすべえの家（住所：北海道岩見沢市北村栄町 640-78）
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

岩見沢北村地域では、農業と観光（アドベンチャートラベルを含む）を結びつけるため、若手農家が農家民泊を開始すべく、古民家を購入し準備を進めている。しかし、ノウハウ等が不足しているため、専門家による助言を希望している。

【実施内容】

専門家を派遣し、派遣依頼者との意見交換を実施した。以下の内容についてアドバイスをを行った。

- ・民泊受け入れの開始について
- ・満足度を高める農山漁村体験の受け入れについて
- ・豆腐づくり体験の受け入れを通じた現場での感想等について



試作中の商品

22. 合同会社 SUM-i-CA ※オンライン派遣

日程	2025年2月27日(木) 17時～18時
実施場所	オンライン会議
派遣人材	サイクリングフロンティア 石塚裕也氏

【課題】

室蘭市には観光事業者が少なく、現状として**AT（アドベンチャートラベル）**への取り組みが進んでいない。2023年度の観光庁事業において、インバウンド向けサイクリングツアーを造成した経緯がある。このツアーの販売等について、具体的な話を聞きたい。

【実施内容】

オンラインにて専門家と派遣依頼者との意見交換を実施し、以下の内容についてアドバイスをを行った。

- ・サイクリング商品の造成と販売について



23. 朝里川温泉組合

日程	2025年2月28日（金）10:00～12:00
実施場所	朝里川温泉ホテル 3階会議室
派遣人材	北海道アドベンチャートラベル協議会 菊地敏孝氏

【課題】

朝里川温泉エリアでは、ここ数年アドベンチャートラベル（AT）に関する商品造成等を進めており、地域でAT推進に向けた機運が徐々に高まっている。この流れをさらに加速させるため、ATに関する情報共有や意見交換の場を地域で設定したいと考えている。

【実施内容】

専門家を派遣し、セミナー・ワークショップで提起された課題に対し、アドバイスを実施した。

アドベンチャートラベルを通じた観光地づくりセミナー ～道内各地域や関係エリアにおける取組を事例紹介～ 公益財団法人北海道観光振興局 令和5年度アドベンチャートラベル推進事業「ATハンズオン実習型」を活用し、道内にアドベンチャートラベル協議会・事務局員・関係機関等氏を招き、セミナーを実施します。内容は、各地域事例の共有および、アドベンチャートラベルを通じた観光地づくりをどのように行うかの意見交換を行います。 日時・会場：令和5年2月28日（金） 10:00～12:00（計240分） 会場：朝里川温泉ホテル 3階会議室 セミナーの方法：最初に40分程度の講演をして頂き、その後参加者同士でのグループワークを実施。 講師の紹介： 北海道アドベンチャートラベル協議会 事務局員 菊地 敏孝 氏 道庁出身、NPO法人大田・野付ふるさとづくりセンター事務局を経て、2015年に北海道立道庁付に入社。2020年から北海道観光振興局に在籍し、ATWG北海道実行委員会事務局担当ディレクターを務めた。2024年4月、同協議会事務局員に就任。 東北高速アドベンチャートラベル協議会の事業内容 外国人観光客の受入・誘致を通して、北海道全体の観光振興に寄与する役割。 観光誘致／人材育成／海外からの問い合わせへの対応／ATの理解促進と普及活動 ○タイムスケジュール (9:45) 到着 (10:00) セミナー開始 開会後 関係者や各 ・朝里川温泉組合 朝里長 挨拶 ・本日の流れの説明 (10:10) 朝里氏の講演 (10:50) 休憩 (11:00) グループワーク 20分 (11:20) 各グループから選抜のシェア×4 20分 (11:40) 質疑応答 20分 (12:00) セミナー終了 解散 以上 次第	
--	---

以上